

協働のまちづくり通信

No.70



▲特産品化 ホームページ QRコード

◆住民協働とは

住民協働とは、市民の皆さん、区、自治会、ボランティア団体、市民活動団体など、さまざまな活動をされている皆さんと行政が、公共の利益のために同一の目的をもって取り組むまちづくり活動に對し、対等な立場で協力しながら進めていく事業です。

市では、今年度6団体に對し、補助金を交付し、事業を進めています。

◆「カフェ かきつばた」で出前講座「認知症サポーター養成講座」と「消費者トラブルに気をつけて！」を開催！

毎月第2・4(木)に開催している認知症カフェ「カフェかきつばた」で、認知症サポーター養成講座と消費者トラブルに関する出前講座「消費者トラブルに気をつけて！」を開催します。

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症高齢者や家族を温かく見守る人のことです。「認知症のことがよく分からないから知りたい」という方も大歓迎です。

消費者トラブルに関する出前講座は、悪徳商法被害などの消費者が巻き込まれやすい事例を紹介しながら、巻き込まれたときの対処法やクーリング・オフなどについて、紹介いたします。

地域の皆さんで楽しいひとときを過ごしませんか。ご来店、お待ちしております。

3月14日(木)10時～11時

消費者トラブルに気をつけて！3月28日(木)10時～11時

会場Ⅱ小規模多機能型居宅介護事業所かきつばた(南横川1726-6)



▲認知症サポーター養成講座 (6月開催)

◆街資源再興プロジェクト

海浜植物のハマボウフウを栽培して市の特産品を目指すハマボウフウ特産品化プロジェクトの活動をしています。特産品化ホームページでは、私たちの活動内容をわかりやすく掲載しています。ぜひご覧ください。《大綱》ハマボウフウ》で検索してください。

当団体は白里海岸での環境の整備と、自生する海浜植物ハマボウフウの保護・再生活動も行っています。

☎0475(72)8278

地域の皆さんで 介護予防しませんか

地域介護予防活動補助金を交付

市では、地区公民館等を利用して自主的にロコモ体操等の介護予防活動を行う団体に対し、活動費用の一部を補助する「地域介護予防活動補助金交付事業」を実施しています。

- ▶対象=市内に住所を有する65歳以上で構成された概ね10人以上の団体
 - ▶補助金額=上限10万円
 - ▶申請期間=4月1日(月)～9月30日(月)
 - ▶申込方法=高齢者支援課の窓口で申し込み
- 詳細は問い合わせください。
- ☎0475(70)0332

男女共同参画だより

2月2日に、宮本みち子氏(放送大学・千葉大学名誉教授)より「格差社会の貧困」の基調講演後、座談会を開催しました。

「子どもの7人に1人が貧困、適切な施策が発動されなければ深刻な社会問題になる」とのお話に、市でどのくらいの子どもが貧困なのか調査はされていないが、この地域で生活困窮者の方と向き合っている方からの現状をお聞きしつつ、参加者がそれぞれ地域としてできる事を考えました。

母子世帯の安定収入の難しさ、男女間の賃金格差、子どもの養育の場としての家庭が安住の地になっていないなど問題は山積みです。その中にいる若者や、子ども達を守るために、地域で手を差しのべられるように、地域での繋がりがいかに大事なことが、再確認できた座談会でした。

☎0475(72)8278

地域包括支援センターだより

～認知症サポーター養成講座に参加してみませんか～

高齢者の相談窓口

◆認知症とは

認知症は誰にでも起こりうる「脳の病気」で、現在、市民の中でも2,200人程度の方に認知症の可能性があります。これは65歳以上の約7人に1人という計算になり、今後、団塊世代の方が75歳以上となる2025年には認知症患者がさらに増加することが予想されています。

◆認知症サポーターとは

特別な事をする人ではなく、認知症の人や家族の方を温かく見守る人(サポーター)のことです。認知症は他人事ではありません。みなさんも認知症について学んでみませんか。

3月14日(木)に「カフェかきつばた」にて市民の方を対象とした認知症サポーター養成講座を実施する予定です。認知症について興味のある方は、ぜひ申し込みください。また、区や自治会、職場、グループでご希望がありましたら、問い合わせください。

◎在宅介護支援センターは、地域と高齢者をつなぐ窓口として、日常生活に関するさまざまな質問・相談を受け付けています。自宅等に訪問することもできますので、お気軽にご相談ください。

☎地域包括支援センター

- ☎0475(70)0439
- FAX)0475(70)1093
- 在宅介護支援センターおおあみ緑の里 ☎0475(73)5146
- 在宅介護支援センター杜の街 ☎0475(70)1666

こちらは消費生活センターです!

「俳句が素晴らしい」と褒められて… 24万円の掲載料

「あなたの俳句は素晴らしい。新聞に掲載しないか」と電話で勧誘され、有頂天になり承諾した。掲載料は、2万円と聞いていたが、確認すると24万円だった。高額なので断っても、「キャンセルはできない」と強く言われ、仕方なく契約した。新聞にも掲載されてしまった。(70歳代 女性)

◆ひとこと助言

「俳句」以外にも「短歌」「書道」「絵画」「写真」等で同様の手口が発生しています。褒められて嬉しい気持ちに付け込まれ、つい承諾してまいがちですが、一度限りのつもりが次々に勧誘されるケースもあります。執ように勧誘される場合は、あまいな断り方をせず、きっぱりと断りましょう。

電話勧誘販売の場合、事業者は契約書面を交付する義務があります。掲載料等の契約内容は書面でしっかりと確認することが大切です。契約書

面が渡されていないときや、法定の契約書面を受け取ってから8日以内のとき等は、クーリング・オフができる場合があります。

不安なときは、早めにお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください(消費者ホットライン☎188)。

周囲の人も、不審な書類がないか、変わった様子がないか、普段から気を配りましょう。

〈参考〉国民生活センター見守り新鮮情報第321号より

◎不安になった場合やトラブルにあった場合は消費生活センターへ相談しましょう。

◆市消費生活センター

- ▶相談日時=祝日を除く(月)・(火)・(水)・(金)10時～12時、13時～16時
 - ▶会場=中央公民館 1階相談室
 - ▶相談電話=☎0475(70)0344
- ☎0475(70)0342

協働のまちづくり交流会in大網白里

千葉県との共催で、他の自治体で地域づくりに取り組んでいる方との交流会を開催します。

▼日時 3月20日(水)13時15分～16時45分(12時45分受付開始)

▼会場 中央公民館

▼内容 地域づくりに取り組む団体の活動発表および意見交換会

▼発表団体 流山子育てプロジェクト、NPO法人光と風(社福) 九十九里ホーム、

あんとんねえさー

「九十九里地域認知症家族の会」in大網白里

認知症の方を介護されている方同士で、介護の悩みや困っていることなどを語り合ってみませんか。

▼日時 3月1日(金)13時30分～15時

▼会場 中央公民館2階談話室

▼内容 認知症の個別相談、参加者同士の交流

▼対象 認知症の方(疑いを含む)を介護している方



※市外にお住まいの方も参加できます。申込不要。直接お越しください。

☎0475(70)0439

☎0475(70)1093